



2018年5月11日

各位

会社名:ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社
代表者名:代表取締役社長 菅野 隆二
(コード番号:6090 東証マザーズ)
問合せ先:取締役経営管理本部長 長谷川 哲也
(TEL:03-3551-2180)

2018年3月期 通期個別業績の前期実績との差異に関するお知らせ並びに 営業外費用の発生に関するお知らせ

2018年3月期(2017年4月1日~2018年3月31日)の通期個別業績につきまして、前期実績との差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

1. 2018年3月期の通期個別業績との差異(2017年4月1日~2018年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前期実績(A)	879	180	54	△66	△11.60
当期実績(B)	838	29	△189	△195	△33.66
増減額(B-A)	△41	△151	△244	△129	—
増減率(%)	△4.7	△83.9	—	—	—

2. 差異の理由

売上高につきましては、メタボローム解析事業において、食品・製薬分野を中心に受注は堅調に推移したものの、一部大型案件の売上計上が次期にずれ込んだこと等により、期末(平成30年3月末)の受注残高が例年に比して高水準となったため、前年を下回る結果となりました。

利益面につきましては、前述の売上高減少に加え、解析サービスのラインナップ拡充に向けた研究開発活動の推進や、組織・設備の強化にかかる経費が増加したこと等から、営業利益が前年を下回る結果となりました。経常利益につきましては、下記3.に記載のとおり貸倒引当金繰入額を計上したこと等から赤字となり、当期純利益につきましても同様の事情から赤字幅が拡大する結果となりました。

3. 営業外費用の計上について

当社の連結子会社である Human Metabolome Technologies America, Inc. 及び HMT バイオメディカル株式会社に対する貸付金に対して、いずれも100%子会社への貸付金であり、その回収可能性はグループ内の政策的判断に拠る部分が大きいことを勘案し、個別財務諸表における健全性の観点から、貸倒引当金繰入額218百万円を営業外費用として計上しております。

なお、当貸倒引当金繰入額は連結決算においては消去されるため、連結財務諸表に与える影響はありません。

以上